

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【秋田大学】

<教育課程審査>

- ① 授業科目「教育社会学」について、コアカリキュラム(2)の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・授業科目「教育社会学」のシラバスについて、当該コアカリキュラム(2)「学校と地域との連携」の内容を含んでいることが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p4-5)
-------	---

- ② 授業科目「教授・学習の心理学(学習・言語心理学)Ⅱ」について、コアカリキュラム(1)の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・授業科目「教授・学習の心理学(学習・言語心理学)Ⅱ」のシラバスについて、当該コアカリキュラム(1)「幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程」の内容を含んでいることが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p6-7)
-------	---

- ③ 授業科目「特別な教育的ニーズの理解とその支援Ⅱ」について、コアカリキュラム(2)2)「自立活動」の内容が判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・授業科目「特別な教育的ニーズの理解とその支援Ⅱ」のシラバスについて、当該コアカリキュラム(2)2)「自立活動」の内容を含んでいることが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p8-9)
-------	---

- ④ 授業科目「総合的な学習の時間Ⅱ」のシラバスについて、授業計画全体において、高等学校における「総合的な探究の時間」を含んでいることを明確にすること。

(対応)→	・授業科目「総合的な学習の時間Ⅱ」のシラバスについて、授業の到達目標及びテーマ、授業の概要、授業計画、テキストの各項目における記載内容を見直し、高等学校における「総合的な探求の時間」を授業内で扱うことが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p10-11)
-------	--

- ⑤ 授業科目「特別活動論Ⅱ」について、中高の特別活動の内容を扱っているか判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・ 授業科目「特別活動論Ⅱ」のシラバスについて、授業のテーマ及び到達目標、授業の概要、授業計画、テキストの各項目における記載内容を見直し、中高の特別活動の内容を授業内で扱うことが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p12-13)
-------	--

- ⑥ 授業科目「教育方法技術論Ⅱ」について、コアカリキュラム(1)2)及び4)の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・ 授業科目「教育方法技術論Ⅱ」のシラバスについて、当該コアカリキュラム(1)2)「これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方(主体的・対話的で深い学びの実現など)を理解している。」及び4)「学習評価の基礎的な考え方を理解している。」の内容を含んでいることが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p14)
-------	---

- ⑦ 授業科目「ICT活用教育実践論Ⅱ」について、コアカリキュラム(1)3)の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確にすること。

(対応)→	・ 授業科目「ICT活用教育実践論Ⅱ」のシラバスについて、当該コアカリキュラム(1)3)「ICT支援員などの外部人材や大学等の外部機関との連携の在り方、学校におけるICT環境の整備の在り方を理解している。」の内容を含んでいることが明確になるよう修正した。(シラバス添付) (p15)
-------	---